エコアクション21
認証番号 0013353

nakatani
中谷運輸株式会社

中谷運輸株式会社

2022年度
環 境 経 営 レ ポ ー ト

対象期間　2022年04月01日　～　2023年03月31日

作成日　2023年04月26日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業紹介	4
環境経営組織図	5
役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績 ・ 環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価　　電力	8
環境経営計画の取組結果とその評価　　自動車燃料　ガソリン ・ 軽油	9
環境経営計画の取組結果とその評価　　都市ガス ・ LPガス ・ 混載	10
環境経営計画の取組結果とその評価　　水道	11
環境経営計画の取組結果とその評価　　一般廃棄物	11
環境経営計画の取組結果とその評価　　産業廃棄物　廃プラスチック ・ 木くず	12
環境経営計画の取組結果とその評価　　産業廃棄物　混載	13
環境経営計画の取組結果とその評価　　鉄くず ・ 廃油　リサイクル	14
環境経営計画の取組結果とその評価　　化学物質　購入数量の把握	15
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無	15
緊急事態対応訓練	16-17
緊急事態対応訓練　建設現場	17
代表者による全体の評価と見直し・指示	18

ご あ い さ つ

当社では「社会の一員であることを自覚し、市民としての責任を全うする」ことを企業理念の一環として掲げ、SDGsへの貢献を経営の重点目標としています。

中でも環境問題への対応は、地球温暖化や資源の過剰消費が未来への大きな脅威となっている現在、私たちにとって喫緊の課題です。

このような観点から当社は「エコアクション21」の導入に取り組み、環境経営のさらなる強化を進めていくこととしました。

豊かな地球を次の世代にバトンタッチしていくために、私たちにできることを始めましょう！

中 谷 運 輸 株 式 会 社
代表取締役社長 中谷　庄司朗

環境経営方針

環境経営理念

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、本業である港湾運送事業・倉庫業などを通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全第一をモットーに安心な港湾荷役をお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

１．　事業活動に関わる環境関連の法規則、条例などを遵守します。

２．　軽油、ガソリン、電力、ガスの使用量を削減し、CO2排出量の低減に努めます。

３．　廃棄物排出量の削減と分別に努めます。

４．　水使用量の削減に努めます。

５．　化学物質の使用がある場合は適正管理に努めます。

６．　グリーン購入を出来る限り推進します。

７．　建設工事を行う時には排ガス、騒音振動に配慮します。

８．　本方針を全従業員へ周知徹底します。

制定日：　2020年10月01日

中 谷 運 輸 株 式 会 社
代表取締役社長 中谷　庄司朗

組織の概要

1. 名称及び代表者名
中谷運輸株式会社　代表取締役社長　中谷　庄司朗

2. 所在地

本　　社	〒552-0022	大阪市港区海岸通1-5-22
船 内 部	〒552-0023	大阪市港区港晴2-13-33
舞洲営業所	〒554-0041	大阪市此花区北港白津1丁目
桜島営業所	〒554-0031	大阪市此花区桜島3-8-26
安治川営業所	〒552-0006	大阪市港区石田2-3-8
JFE堺営業所	〒592-8331	堺市西区築港新町3-30
流通センター営業所	〒559-0033	大阪市住之江区南港中7-3-109
L6営業所	〒559-0033	大阪市住之江区南港中8-8-16
D5営業所	〒559-0032	大阪市住之江区南港南2-11-51
コンテナ営業所	〒559-0031	大阪市住之江区南港東9-2-97
R2営業所	〒559-0034	大阪市住之江区南港北3-2-46
咲洲営業所	〒559-0033	大阪市住之江区南港中8-5-24
泉北営業所	〒595-0074	泉大津市小津島町4-10
A1営業所	〒559-0032	大阪市住之江区南港南3-13-17
L5営業所	〒559-0033	大阪市住之江区南港中8-5-24
梱包部	〒554-0031	大阪市此花区桜島3-9-35
メンテナンス 港センター	〒552-0022	大阪市港区海岸通2-2-9
メンテナンス R2センター	〒559-0034	大阪市住之江区南港北3-2-49
メンテナンス C9センター	〒559-0031	大阪市住之江区南港東9-2

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役 執行役員	杉本　隆司	t-sugimoto@nakatani-osaka.co.jp
担当者	理事 総務部 部長	工藤　準一	j-kudo@nakatani-osaka.co.jp
	総務部	田中　みさと	sohmu@nakatani-osaka.co.jp

連絡先　〒552-0022　大阪市港区海岸通1-5-22　Tel　06-6572-5021　Fax　06-6574-1023

4. 事業内容
港湾運送業・倉庫荷役業・倉庫業・海運貨物取扱業・海運代理店業・自動車運送取扱業
一般区域貨物自動車運送業・通関業・建設業

5. 事業の規模
売上高　777,470万円　　437 名　　7,582 ㎡

	本　社	船 内 部	舞洲営業所	桜島営業所	安治川営業所	JFE堺営業所	流通センター営業所
従業員　名	32 名	56 名	12 名	42 名	4 名	20 名	18 名
延べ床面積　㎡	640 ㎡	470 ㎡	212 ㎡	1,102 ㎡	133 ㎡	253 ㎡	160 ㎡

	L6営業所	D5営業所	コンテナ営業所	R2営業所	咲洲営業所	泉北営業所	A1営業所
従業員　名	11 名	4 名	57 名	52 名	12 名	35 名	15 名
延べ床面積　㎡	127 ㎡	64 ㎡	226 ㎡	342 ㎡	239 ㎡	848 ㎡	281 ㎡

	L5営業所	梱包部	メンテナンス 港センター	メンテナンス R2センター	メンテナンス C9センター	合　計
従業員　名	15 名	7 名	27 名	10 名	8 名	437 名
延べ床面積　㎡	239 ㎡	120 ㎡	941 ㎡	985 ㎡	200 ㎡	7,582 ㎡

6. 事業年度　04月01日　～　03月31日

事業の紹介

1. 保有車両

バッテリーフォークリフト	0.7t ～ 3.0t	181台	トレーラーヘッド	30台
フォークリフト	1.5t ～ 31.0t	205台	シャーシ	16台
トラック	軽 ～ 13.5t	40台	トランステナー（RTG）	12台
移動式クレーン	50t ～ 200t	10台	ユンボ	10台
			高所作業車ほか	31台

200トン クローラークレーン

ユンボ

31トン フォークリフト

トレーラヘッド＆シャーシ

トランステナー（RTG） ツイン荷役

2. 事業紹介

コンテナ船 2ギャング荷役

ガントリークレーン ツイン荷役

在来本船 鋼材本船積

在来本船 鋼材本船積

RO/RO船 板紙・巻取紙荷役

倉庫 巻取紙バン出作業

倉庫 巻取紙作業

倉庫 青果バン出作業

フォークリフト整備

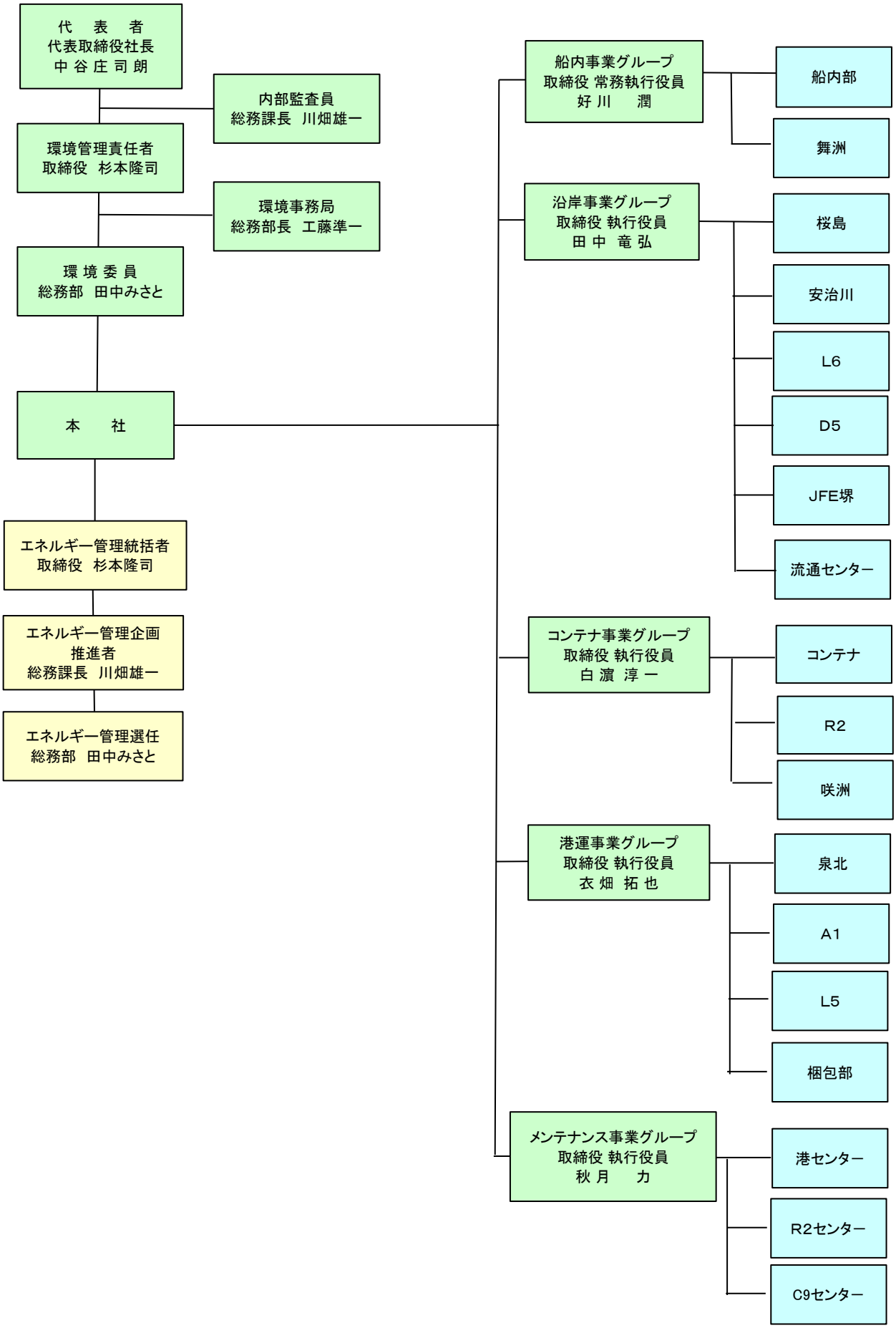
ガントリークレーン整備

銅板セドリ作業

梱包作業

環境経営組織図

更新日　2022年04月01日



役割・責任・権限表

	役　割・責　任・権　限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画
	・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項　目	単位	2019年（基準年）	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	4,095,288	4,010,371	4,041,745	3,883,826
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	72,342	89,176	37,100	40,262
産業廃棄物排出量	kg	318,500	291,845	197,563	282,456
総排水量	m^3	11,632	11,521	10,006	10,073

※二酸化炭素排出係数　0.334　kg-CO2/kWh　2018年　関西電力の調整後の係数

環境経営目標及びその実績

項目 ＼ 年度		基準値 2019年（基準年 実績）	2020年（実績）	2021年（実績）	2022年（目標）	2022年 通期（実績）	評価	2023年（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	288,162	255,980	250,797	279,517	240,376	○	276,636
	基準年度比		88.8%	87.0%	97.0%	83.4%	○	96.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,765,005	3,718,995	3,757,717	3,652,055	3,616,744	○	3,614,405
	基準年度比		98.8%	99.8%	97.0%	96.1%	○	96.0%
都市ガスによる二酸化炭素の把握	kg-CO2	19,338	17,381	15,298	18,758	11,694	○	18,565
	基準年度比		89.9%	73.8%	97.0%	60.5%	○	96.0%
LPガスによる二酸化炭素の把握	kg-CO2	17,304	14,529	13,948	16,785	10,032	○	16,612
	基準年度比		84.0%	80.6%	97.0%	58.0%	○	96.0%
灯油による二酸化炭素の把握	kg-CO2	5,478	3,486	3,984	5,314	4,980	○	5,259
	基準年度比		63.6%	72.7%	97.0%	90.9%	○	96.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	4,095,288	4,010,371	4,041,745	3,950,331	3,883,826	○	3,909,606
一般廃棄物の削減	kg	72,342	89,176	37,100	70,172	40,262	○	69,448
	基準年度比		123.3%	36.2%	97.0%	55.7%	○	96.0%
廃プラスチックの削減	kg	64,787	42,883	39,643	62,843	9,306	○	62,196
	基準年度比		66.2%	76.4%	97.0%	14.4%	○	96.0%
木くずの削減	kg	203,413	133,532	110,020	197,311	153,450	○	193,242
	基準年度比		65.6%	59.1%	97.0%	75.4%	○	96.0%
混載廃プラ・木くず・鉄くずの削減	kg					57,340		55,046
	基準年度比							96.0%
鉄くずのリサイクル	kg	12,050	80,780	23,650		28,060		
	リサイクル率	100%	100%	100%	100%	100%	○	100%
廃油のリサイクル	kg	38,250	34,650	24,250		34,300		
	リサイクル率	100%	100%	100%	100%	100%	○	100%
水道水の削減	m^3	11,632	11,521	10,006	11,283	10,073	○	11,167
	基準年度比		99.0%	86.0%	97.0%	86.6%	○	96.0%

環境経営計画の取組結果とその評価

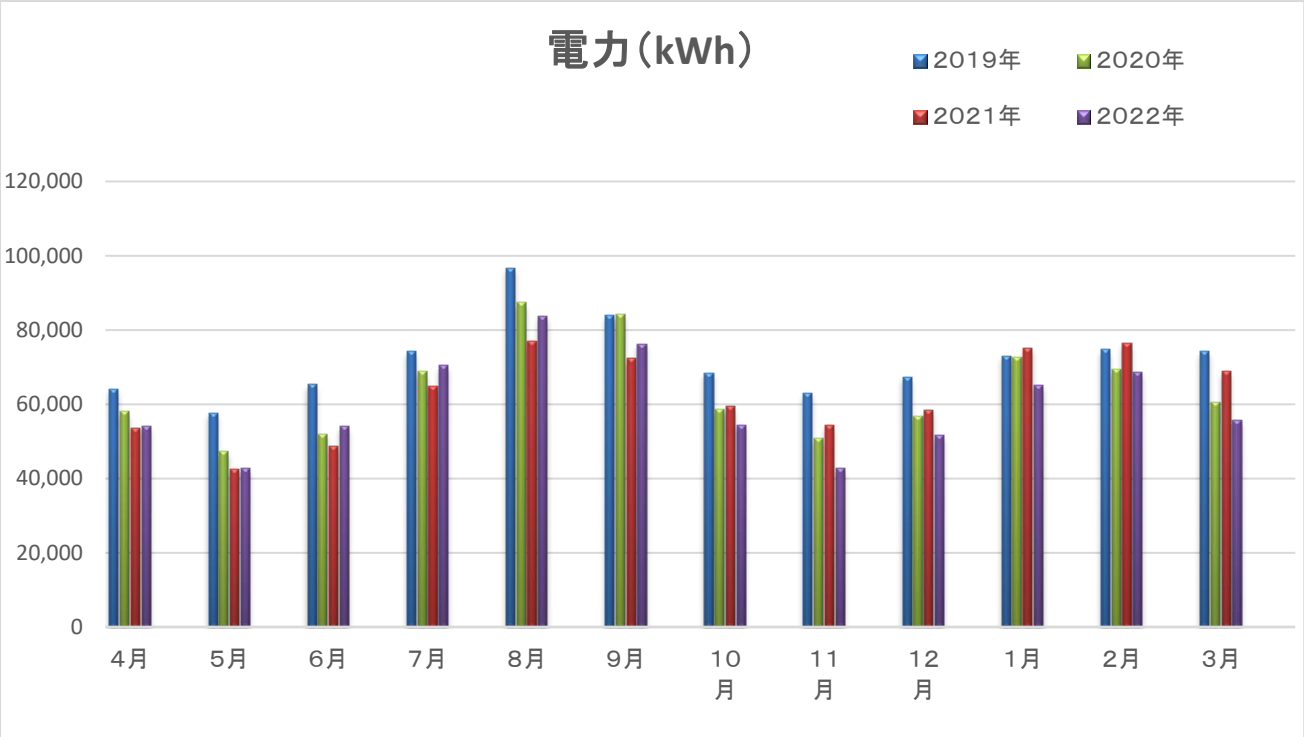
電　　力

数値目標：目標に対しての達成状況（%）

活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	83.4%	
・空調温度の適正化（冷房26℃　暖房24℃）	○	通期において、各自が節電の意識が浸透した結果、基準年度に比べ16.6%二酸化炭素の排出量削減できた。今後も従業員へ取り組み内容を朝礼などで周知して継続する。
・昼休み、残業時に不要照明の消灯	○	
・更衣室、トイレなど使用頻度が低い場所は使用時のみ点	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	64,168	57,706	65,279	74,170	96,719	83,952	68,418	63,004	67,285	73,024	74,816	74,220	862,761
2020年	58,089	47,217	51,995	68,848	87,333	84,302	58,593	50,779	56,850	72,600	69,273	60,527	766,406
2021年	53,558	42,295	48,503	64,826	77,094	72,225	59,287	54,257	58,456	75,131	76,476	68,783	750,891
2022年	54,068	42,860	54,038	70,444	83,838	76,249	54,433	42,730	51,575	65,201	68,651	55,601	719,688

環境経営計画の取組結果とその評価

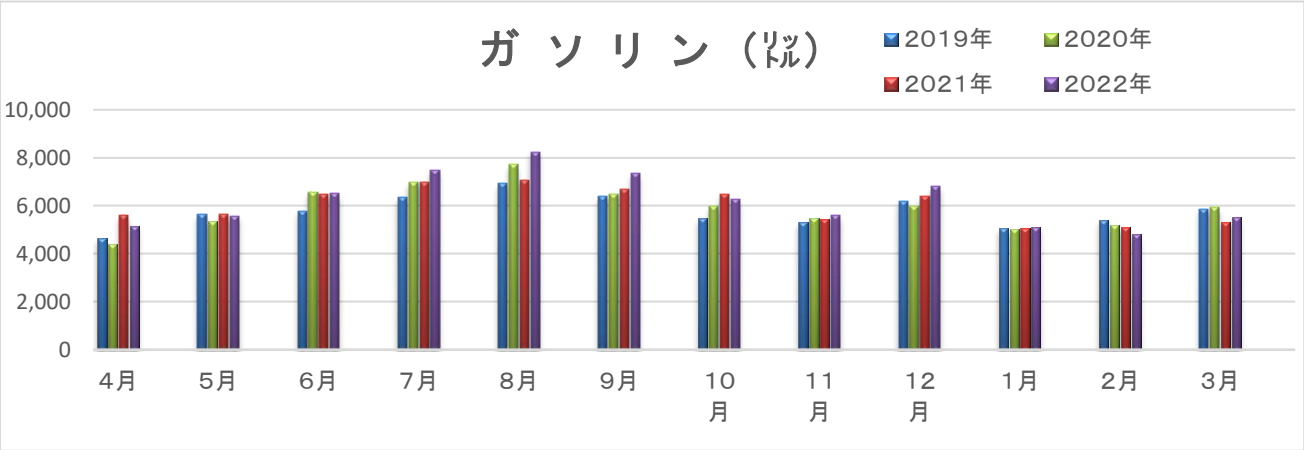
自動車燃料 （ガソリン・軽油）

数値目標：目標に対しての達成状況（%）

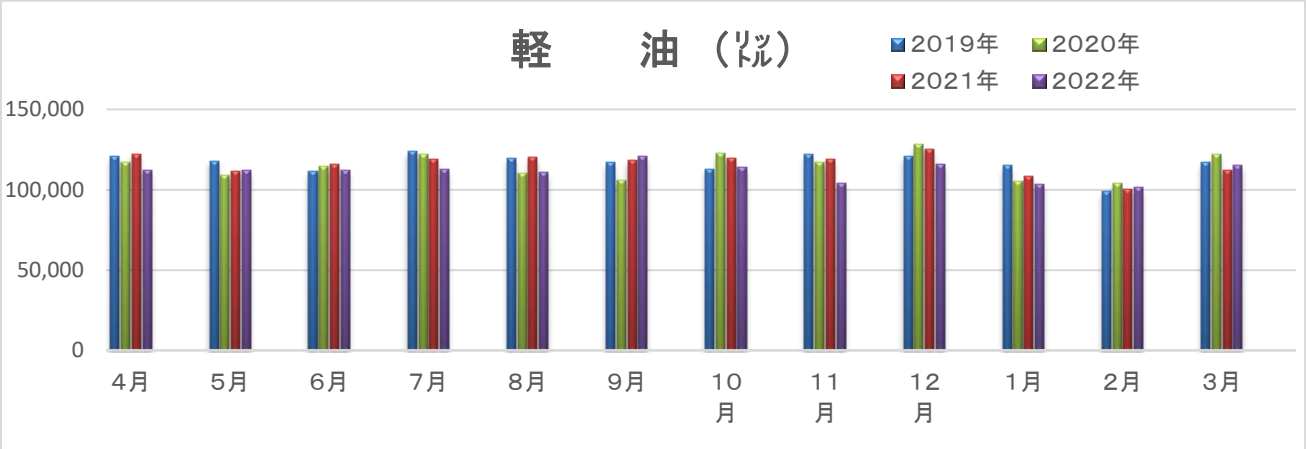
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

自動車燃料による二酸化炭素削減

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	96.1%	
・エコドライブなど配慮した運転	〇	通年を通して、全国の顧客やグループ会社（岡山）への出張作業なども多かったため、ガソリンの消費量も増加したが、今後もエコドライブやタイヤの適正な空気圧などに努める。軽油は荷役車両などに使用のため、できる限りエコ運転に努める。従業員へ取組内容を朝礼などで周知して今後も継続して取組みます。
・定期点検＆タイヤ　適正値の空気圧	〇	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	4,635	5,623	5,780	6,355	6,925	6,394	5,471	5,302	6,200	5,066	5,406	5,857	69,015
2020年	4,413	5,342	6,572	6,965	7,705	6,488	5,969	5,493	5,989	5,004	5,186	5,934	71,061
2021年	5,593	5,652	6,488	6,991	7,054	6,683	6,496	5,424	6,397	5,036	5,099	5,302	72,214
2022年	5,151	5,569	6,514	7,482	8,237	7,341	6,273	5,580	6,806	5,114	4,794	5,504	74,362

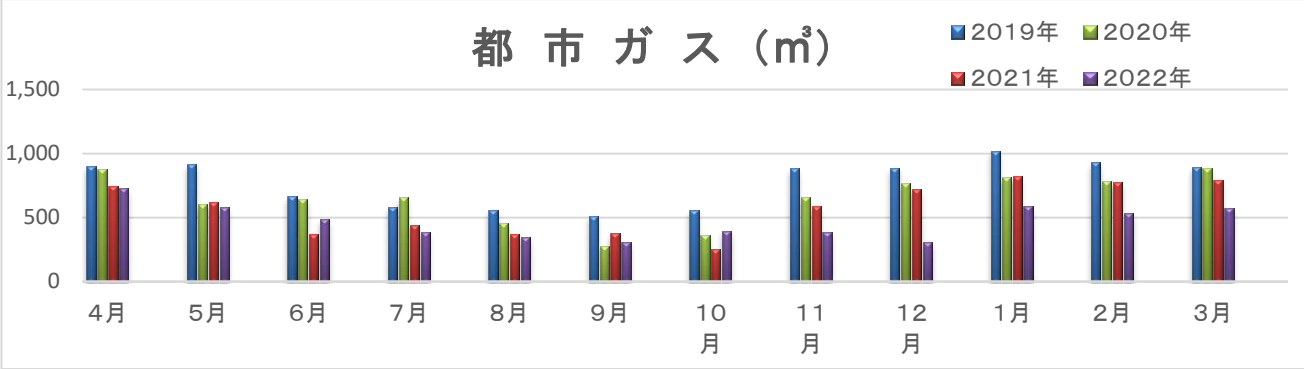


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	121,110	117,796	111,355	123,854	119,596	117,037	112,850	121,916	120,464	115,175	99,017	117,074	1,397,245
2020年	117,128	108,813	114,706	121,914	110,399	106,192	122,509	116,846	128,045	104,978	104,058	121,983	1,377,571
2021年	122,277	111,776	115,836	118,751	120,240	118,284	119,640	119,216	125,084	108,080	100,064	112,295	1,391,543
2022年	112,364	111,876	112,246	112,674	110,521	120,832	114,108	104,235	116,176	103,203	101,473	115,262	1,334,970

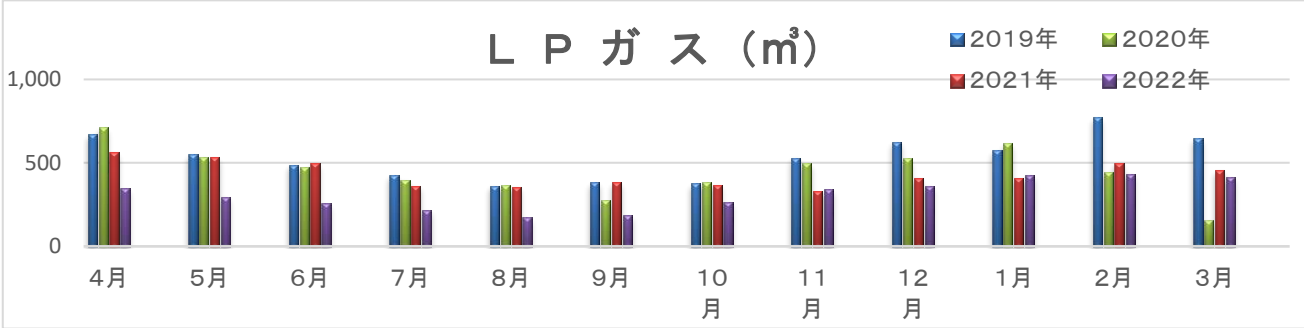
環境経営計画の取組結果とその評価

都市・LPガスによる二酸化炭素の把握

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・冬季以外給湯を控える	○	通期において、各自が給湯器の使用や風呂・シャワーなど必要最低限での使用で二酸化炭素の排出量削減に務めた。今後も従業員へ取り組み内容を朝礼などで周知して継続する。



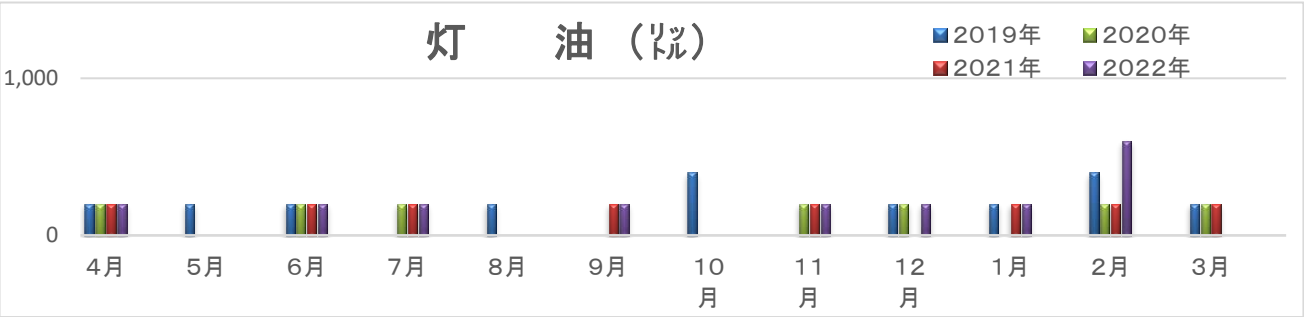
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2019年	898	915	664	581	554	512	554	882	889	1,020	933	895	9,297
2020年	879	601	644	655	458	276	364	658	768	818	786	887	7,794
2021年	744	616	366	441	371	375	253	588	721	822	773	790	6,860
2022年	727	584	488	389	349	311	396	382	305	586	535	570	5,622



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2019年	672	551	488	426	361	384	378	531	625	573	774	646	6,409
2020年	711	537	473	399	363	276	381	498	524	618	445	156	5,381
2021年	563	532	498	362	356	385	367	330	409	408	500	455	5,166
2022年	346	296	257	216	174	187	265	340	363	424	434	413	3,716

灯油による二酸化炭素の把握

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・冬季以外給湯を控える	○	メンテンス事業グループにおいて、各自が給湯器の使用や風呂・シャワーなど必要最低限での使用で二酸化炭素の排出量削減に務めた。今後も従業員へ取り組み内容を朝礼などで周知して継続する。



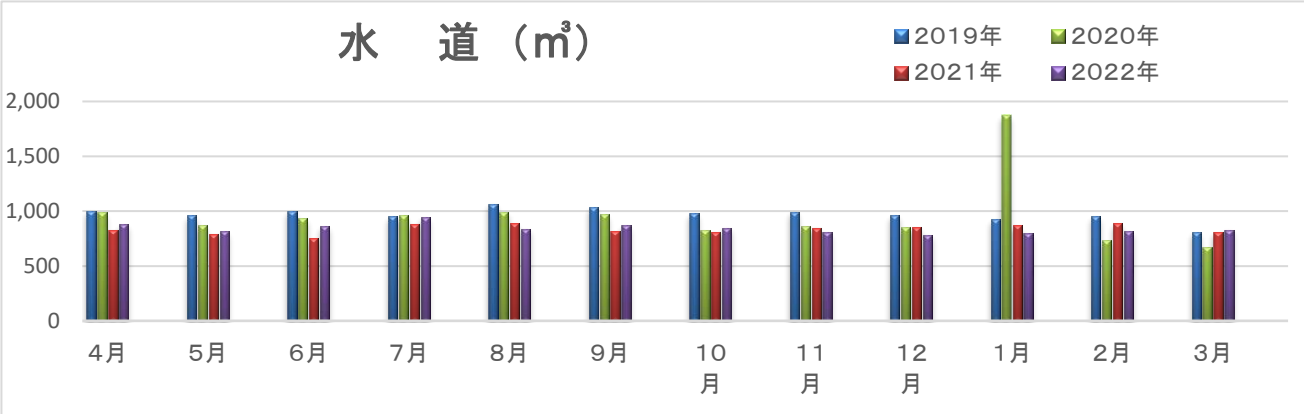
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2019年	200	200	200	0	200	0	400	0	200	200	400	200	2,200
2020年	200	0	200	200	0	0	0	200	200	0	200	200	1,400
2021年	200	0	200	200	0	200	0	200	0	200	200	200	1,600
2022年	200	0	200	200	0	200	0	200	200	200	600	0	2,000

環境経営計画の取組結果とその評価

水道水の削減

数値目標：目標に対しての達成状況（%）　　活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	86.6%	
・節水の呼びかけ、ポスター表示	○	朝礼や節水ポスターなどで節水に務めるように注意喚起して、次年度も同様の取組みを継続する。
・日常的に節水の励行	○	

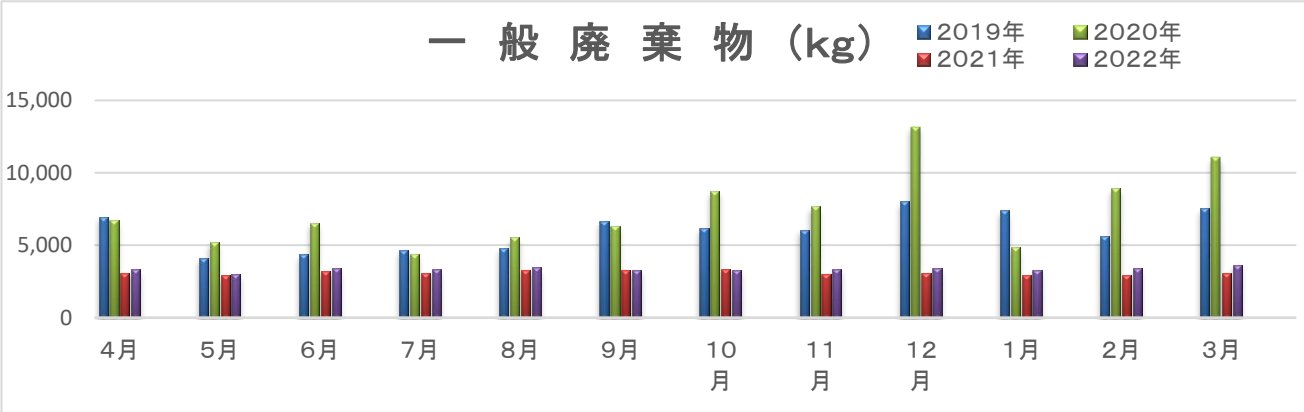


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	1,002	959	1,000	949	1,067	1,037	982	991	962	925	955	803	11,632
2020年	987	869	931	963	994	973	822	859	852	1,871	731	669	11,521
2021年	824	786	748	880	889	815	805	847	851	871	886	806	10,006
2022年	875	813	861	942	838	868	847	807	782	795	816	830	10,073

＊　2020年01月　桜島営業所　風呂場で1,000㎥水漏れ発生

一般廃棄物の削減

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	55.7%	
・ごみ箱の削減	○	分別の徹底を従業員へ朝礼などで周知して、次年度も同様の取組みを継続する。
・分別の徹底	○	
・両面、集約などの機能を活用した印刷及びコピ	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	6,963	4,117	4,379	4,684	4,768	6,641	6,163	6,065	8,024	7,377	5,611	7,550	72,342
2020年	6,722	5,186	6,552	4,394	5,539	6,329	8,757	7,676	13,160	4,846	8,954	11,061	89,176
2021年	3,045	2,901	3,190	3,063	3,287	3,300	3,349	3,027	3,061	2,936	2,890	3,051	37,100
2022年	3,324	3,035	3,429	3,323	3,444	3,290	3,283	3,368	3,433	3,290	3,388	3,655	40,262

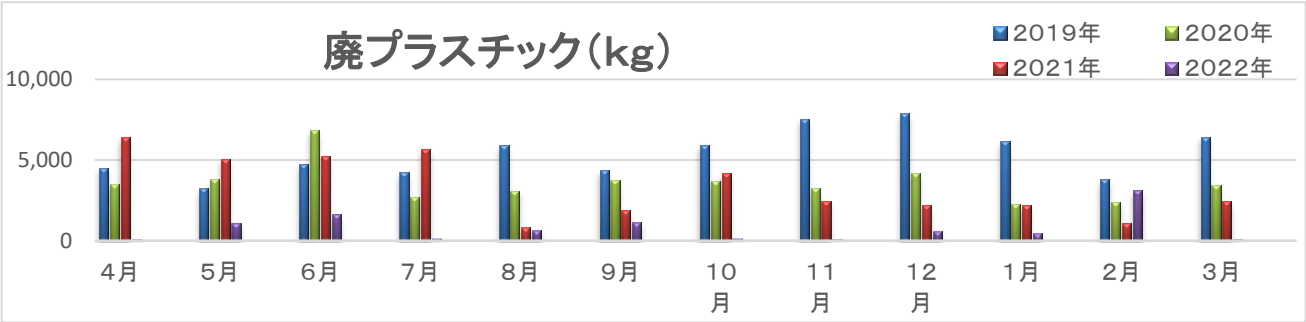
環境経営計画の取組結果とその評価

産業廃棄物　廃プラスチック・木くず

数値目標：目標に対しての達成状況（%）　　活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

廃プラスチックの削減

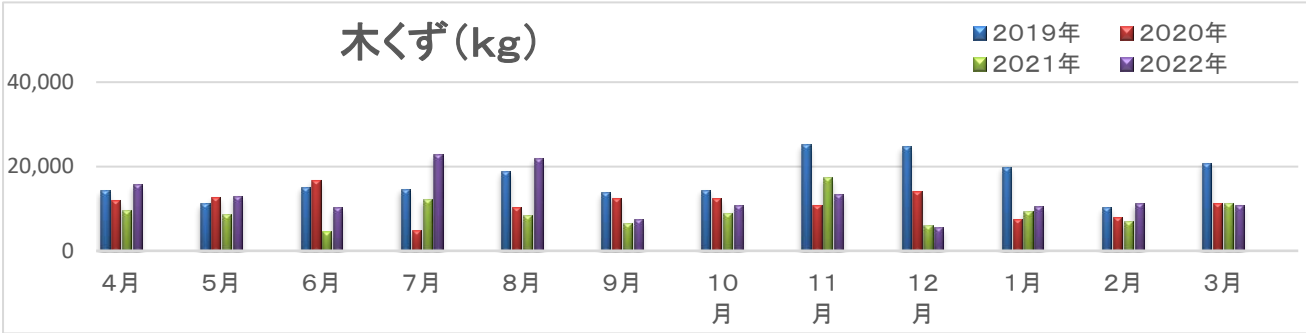
取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	14.4%	
・分別廃棄を徹底し資源化する	○	2021年度 外部監査で産業廃棄物マニフェストへ廃プラ、木くずなど混載記入が有り、分別仕分けも困難なため、2022年度より混載のカウントとなったため、2021年度（39,643kg）と比較して76.5%の削減となった。今後も同様の取組みをいたします。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	4,506	3,222	4,734	4,231	5,928	4,378	5,951	7,555	7,889	6,141	3,808	6,444	64,787
2020年	3,526	3,807	6,814	2,710	3,088	3,751	3,712	3,251	4,165	2,263	2,395	3,401	42,883
2021年	6,396	5,073	5,237	5,674	833	1,858	4,176	2,482	2,225	2,175	1,109	2,405	39,643
2022年	116	1,109	1,634	143	663	1,118	125	100	616	475	3,100	107	9,306

木くずの削減

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	75.4%	
・廃棄物の分別を徹底	○	2021年度 外部監査で産業廃棄物マニフェストへ廃プラ、木くずなど混載記入が有り、分別仕分けも困難なため、2022年度より混載のカウントとなったため、2021年度（110,020kg）と比較して139.4%の増加となり、今後も分別仕分けの徹底を従業員へ朝礼などで周知します。



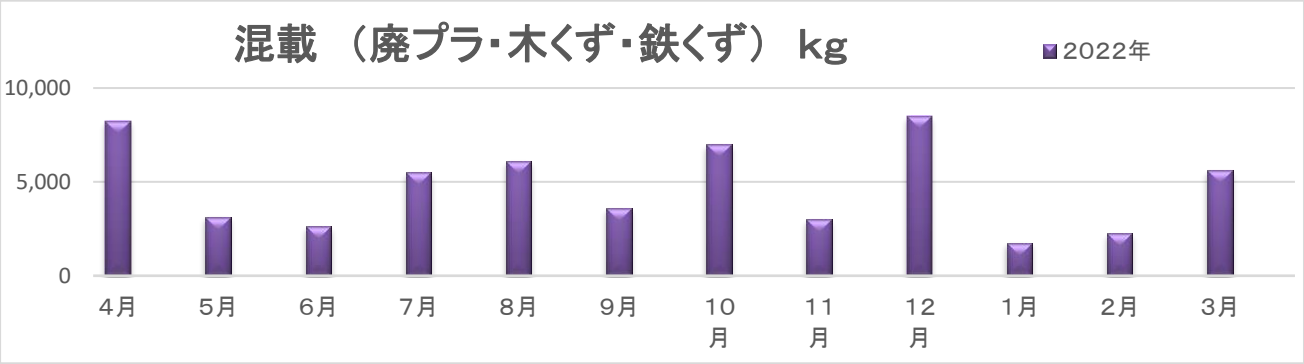
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	14,245	11,263	15,092	14,637	18,886	13,797	14,420	25,319	24,703	19,887	10,283	20,881	203,413
2020年	12,033	12,726	16,765	4,851	10,241	12,600	12,369	10,913	14,112	7,511	8,036	11,375	133,532
2021年	9,720	8,560	4,540	12,260	8,340	6,560	8,990	17,330	5,990	9,350	7,030	11,350	110,020
2022年	15,790	13,020	10,210	22,790	21,980	7,440	10,730	13,440	5,530	10,470	11,180	10,870	153,450

環境経営計画の取組結果とその評価

混載 （廃プラ・木くず・鉄くず）の削減

2022年度に産業廃棄物削減活動推進のため産業廃棄物の目標区分を見直しました。
混載を新たに追加、2022年度は把握する年度とします。
2023年度は、2022年度を基準として目標を設定して活動します。

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・廃棄物の分別を徹底	○	出来る限り、分別仕分けをして削減に努める。



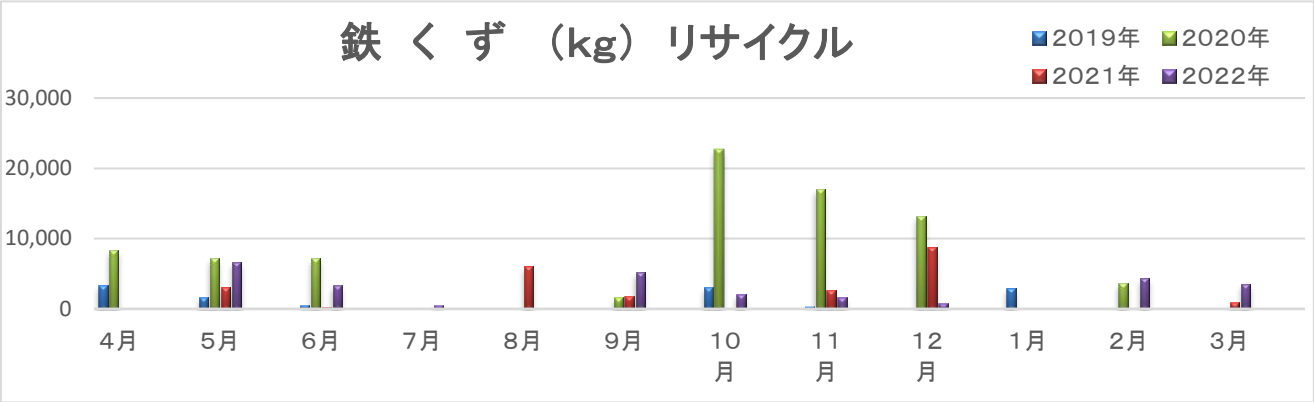
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2022年	8,250	3,125	2,625	5,500	6,125	3,590	7,000	3,000	8,500	1,750	2,250	5,625	57,340

環境経営計画の取組結果とその評価

産業廃棄物　鉄くず・廃油のリサイクル

鉄くずのリサイクル

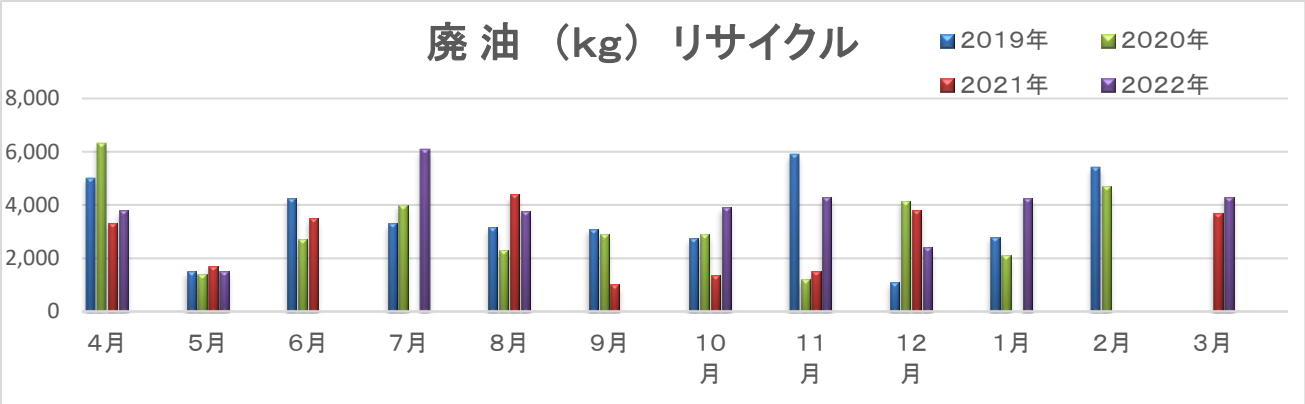
取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・廃棄物の分別を徹底し、可能な場合は売却	○	産業廃棄物（マニフェスト）2,290kg（10.3%）と有価物25,770kg（91.8%）再生処理をしてリサイクル率100%でした。今後もリサイクル率100%を目指して取り組みます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	3,290	1,680	520	120	0	0	3,070	310	0	2,970	90	0	12,050
2020年	8,300	7,180	7,180	0	0	1,620	22,690	17,040	13,120	0	3,650	0	80,780
2021年	0	3,090	290	0	6,050	1,830	60	2,670	8,760	0	0	900	23,650
2022年	0	6,630	3,290	540	0	5,150	2,090	1,620	790	0	4,400	3,550	28,060

廃油のリサイクル

取組計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・廃棄物の分別を徹底し、可能な場合は売却	○	廃油34,300kgは産業廃棄物（マニフェスト）600kg（1.7%）と有価物（時価売価）33,700kg（98.3%）は再生処理をしてリサイクル100%でした。今後もリサイクル率100%を目指して取り組みます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
2019年	5,000	1,500	4,250	3,300	3,150	3,100	2,750	5,900	1,100	2,800	5,400	0	38,250
2020年	6,300	1,400	2,700	4,000	2,300	2,900	2,900	1,200	4,150	2,100	4,700	0	34,650
2021年	3,300	1,700	3,500	0	4,400	1,000	1,350	1,500	3,800	0	0	3,700	24,250
2022年	3,800	1,500	0	6,100	3,750	0	3,900	4,300	2,400	4,250	0	4,300	34,300

環境経営計画の取組結果とその評価

化学物質　購入数量の把握

化学物質（接着剤、塗料等）PRTR物質は各事業所での使用量が少ないため使用数量の把握に努めSDSを確認し安全を確保して使用します。

化学物質の購入把握は2022年10月より実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	kg
1,2,3－トリメチルベンゼン	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	1.80	0.00	0.00	1.80
1,2,4－トリメチルベンゼン	－	－	－	－	－	－	0.34	1.07	1.69	2.68	1.41	2.71	9.91
1,3,5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	－	－	－	－	－	－	0.08	0.38	0.48	0.86	0.46	1.00	3.25
1－ブタノール	－	－	－	－	－	－	0.16	0.00	0.20	0.20	0.16	0.16	0.88
2-エチルヘキシル酸コバルト	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	0.18	0.00	0.00	0.18
N-ヘキサン	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.20
イソヘキサン	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	1.80	0.00	0.00	1.80
エチルベンゼン	－	－	－	－	－	－	3.32	0.77	3.65	4.30	2.82	5.44	20.29
エチレングリコールモノ-t-ブチルエール	－	－	－	－	－	－	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40
キシレン	－	－	－	－	－	－	5.34	1.97	5.75	7.22	4.30	8.45	33.05
クメン	－	－	－	－	－	－	0.00	0.06	0.06	0.13	0.06	0.06	0.38
トルエン	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.60	2.60
フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.03	0.10
ベンゼル	－	－	－	－	－	－	0.51	0.68	0.00	0.61	0.00	0.47	2.28
ﾎﾟﾘｵｷｼｴﾁﾚﾝｱﾙｷﾙｴｰﾃﾙ硫酸ｴｽﾃﾙﾅﾄﾘｳﾑ	－	－	－	－	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.06
マンガン	－	－	－	－	－	－	0.00	0.40	2.00	0.40	0.50	0.00	3.30
	－	－	－	－	－	－	9.75	5.74	13.83	20.46	9.71	20.98	80.47

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	許可業者との契約、マニフェスト交付、保管、産業廃棄物の適正保管
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	油類・有害物質の保管
省エネ法	事業者全体でエネルギー使用量（原油換算値）1500kℓ以上
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応訓練	地震発生時の訓練	本社、咲洲、舞洲、桜島、安治川、JFE堺、流通 L6、R2、泉北、A1、L5、梱包、メンテナンス

緊急事態の想定	大阪湾沖　震度6弱　地震発生後、5階炊事場より火事の想定		
実　施　日	2022年11月18日	参　加　者	大阪水上消防署　6名 代表取締役専務 森田耗一 以下、35名
実 施 場 所	中谷運輸株式会社　本社	手順書の変更の必要性	□　あり　　☑　なし
実 施 内 容	大阪水上消防署　6名立会いで事前提出した手順書を確認していただき、シェイクアウト訓練、通報訓練、　　消火訓練、AED使用の研修を行った。　避難場所までの所要時間　約5分		
評　　価	消防隊長より、全体に落ちついた行動でシャイクアウト訓練、通報訓練、避難訓練を行われていた。		

実施状況の様子

2022年11月18日（金）　13:30　大阪湾沖　震度6弱　地震発生後、5階炊事場より火事の想定

シェイクアウト訓練

通報訓練

避難訓練

消火器訓練

AED研修

緊急事態対応訓練	BCP　訓練 徒歩にて避難場所へ避難	船内、桜島、L6、D5、コンテナ、R2 泉北、A1、L5、梱包、メンテナンス

緊急事態の想定	大規模地震による津波からの避難		
実　施　日	2022年10月29日	参　加　者	岩井、福山、田中、照井、馬場、和田
実 施 場 所	R2営業所	手順書の変更の必要性	□　あり　　☑　なし
実 施 内 容	南港R倉庫からATC（IMT棟）までの避難経路の再確認及び徒歩での所要時間の再計測		
評　　価	R倉庫1階荷捌き場の集合場所からATCまでの総時間は徒歩18分で、中間地点としてさんふらわターミナルまでは10分を要した。またATC内部の避難経路を見取り図で確認した。少人数による訓練であったため、実際の避難よりもスムーズに到着出来たと考えておく必要がある。		

実施状況の様子

緊急事態対応訓練　油流出対応訓練　　桜島、流通、L6、R2、泉北、メンテナンス

緊急事態の想定	油流出事故発生		
実 施 日	2022年11月11日（水）10:30～11:00	参 加 者	原田課長以下、10名（2班に分かれての訓練）
実 施 場 所	メンテンス事業グループ　港センター　新工場	手順書の変更の必要性	□ あり　☑ なし
実 施 内 容	車両からの油が流出した事を想定し、油流出のくい止めや処理方法の訓練を実施。		
評　価	訓練は順調に行われた。オイル受容器の確実な設置や、突然のオイル洩れに対処出来るよう、常に吸着シートを準備しておく事の必要性を確認した訓練であった。		

実施状況の様子

油吸着訓練
オイルが散乱しないように吸着シート、オイル受缶を配置

中和剤散布訓練
オイルを吸着後、中和剤を散布

オイル処理訓練
洩れたオイルを処理用の容器に移し変え

訓練後のミィーティング
訓練後に反省点などを全員で周知し改善する

緊急事態対応訓練　建設現場における地震発生時の訓練　　メンテナンス事業G　東南興産株式会社

緊急事態の想定	震度6弱の地震発生後に火災発生		
実 施 日	2023年01月27日	参 加 者	中谷運輸 ・・・ 森山以下6名 東南興産 ・・・ 石田課長
実 施 場 所	株式会社辰巳商會 南港中営業所	手順書の変更の必要性	□ あり　☑ なし
実 施 内 容	ミーティング及び危険予知後に震度6弱の地震発生を想定 屋外に避難と安否確認（東南興産㈱と共同実施）		
評　価	地震発生から訓練終了まで、混乱もなく落ち着いて取り組む事が出来た。		

実施状況の様子

2023年01月27日（金）　16:10　大阪湾沖　震度6弱　地震発生の想定

【作業前ミーティング】

【機器等段取り】

【安否確認】

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年4月20日

【今回の指示への取組結果】		
＜情　報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等）		◇環境方針 環境方針の変更は特にない。
◇環境経営目標・計画の達成状況	➡	◇環境経営目標・環境経営計画 環境経営　目標・計画に変更は特にない。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等		◇実施体制他 実施体制他に変更は特にない。

エコアクション21　3年目　全社社員が環境に配慮したCO2削減を意識した取組みを務めた。
2021年度の審査において、メンテンス事業グループで産業廃棄物管理不備の指摘に対して、
新たに電子マニフェスト契約を登録をして適切に管理できるように見直しました。
環境方針、環境経営目標、環境経営計画を計画した通りに2023年度も同様な運営を行い、
目標数値の達成が出来るよう、環境に配慮をしてCO2削減に取組むように指示をいたしました。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり